

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りあんkidsスポーツクラブ(放デイ)		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様や関係機関等との密な連携	・子どもの様子や変化が見られた際、保護者様に伝えている。(HUG【連絡帳アプリ】、個別面談、電話、LINE等)利用されている子どもの小学校や園に出向き、担当者との情報交換や会議等を適宜に行い、共通理解を深めている。	・園、学校、地域との連携を充実し、地域で子どもが育つ環境作りを目指していきます。
2	・多様な支援プログラムの実施	・子ども達が楽しいと感じ、意欲的に参加したいと思えるような内容を工夫しながら実施する。	・ルールのある運動や小集団で出来る活動や遊びを増やしていく。
3	・子どもの理解とケア	・職員会議等を通じて子どもの理解、課題の共通理解に努めている。	・子どもの理解を深めるための時間を確保し、適切なアセスメントに基づいた支援をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎等が人員配置の関係上、ニーズに満たされていない。	・今年度、利用される子どもの送迎や難しい事をお伝えしたケースがあった。日々の送迎においては、送迎場所や時間等の希望がある保護者には柔軟に対応出来る様に組んでいるが、利用日当日やご契約時に決定した送迎場所以外の指定は対応が難しい事もあり、全てのニーズには対応出来ない。	・日頃からの関りを大切にし、関係を深めながら連携出来る事を検討していきます。
2	・内部研修時間の確保、研修の時間確保が難しい。 (研修機会はあがるが、時間がとりにくい)	・シフト制や送迎業務の関係で、まとまった研修時間を確保しにくい。外部研修にも参加しているが、一部の職員に限られている。	・業務上、全職員が外部研修を受講する事は難しいですが、シフト調整を行い、一部の職員に限定せず順番で受講出来る体制を整えていきます。 また、全職員に啓蒙していきます。
3	・保護者様同士の交流を創出する余地がある。 保護者様のニーズに応じた交流機会を設ける事で、家庭間の支援力向上に繋がる可能性がある。	・保護者会や父母の会の開催要望が少ない為、周知方法や開催形式が確率していない。	・保護者様からの開催要望が少ない為、個別の相談等を随時、実施しております。今後、要望が増えてきましたら、開催等も含めて検討したいと考えています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		りあんkidsスポーツクラブ（放デイ）		公表日		令和8年 4月 20日		
		保護者数12名	回収数11名	回収率91.7%	利用児童数12名	回収数11名		
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		1	送迎等、制限を聞く事が増えたように思う。 スタッフさんが4名で、休憩や送迎時の配置がどうなのかな？と思う。送迎業務スタッフが居れば、子供への支援の時間をもっと取れるのでは？と感じる。系列の他の教室では送迎スタッフを募集されているようなので、そこは各施設、公平に配置して頂きたいです。	法令上の人員配置基準を満たしております。 職員の欠勤がある際にも対応できるように、社内連携しております。 また、職員の休憩に関しましては、各自会社の規則に沿って休憩時間を取っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	2				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	3			半年に1回の個別支援計画時の面談以外に年2回モニタリングをする機会があるが、それ以外でも先生と話す機会があれば良い。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上出来るように努めて参ります。 また、モニタリングや個別支援計画書の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけ下さい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1		1	外での運動療育がありませんので、もう少し検討してもらえたらと思う。利用施設によって経験できる内容が違ってこないようにバランスを取って欲しい。秋祭りに参加したが、色々な場所に連れて行っている施設がうらやましい。各施設そうして欲しい。（園外学	より良い支援が出来るよう、お子様に必要な支援内容について具体的に設定出来る様努めて参ります。 今後、戸外活動も増やす様に、職員と予定を立てておりますので、今後の予定が決定次第、順次ご連絡致します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	2				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1			半年に1回のモニタリング以外は、HUGで活動内容をチェックしています。	職員会議や振り返りを行い、より充実した支援が出来るよう、引き続き努めて参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	4	活動の機会がもっとあると良いが。秋祭りで、他施設（りあん）に通う子との交流ができた。	ニーズが少ない為、事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討致します。 系列の教室のお子様と交流を深められるように、計画を立てておりますので、今後の予定が決定次第、順次ご連絡致します。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1					
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11						

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	3	事業所入口に張ってあったり、プリントをもらったりしています。	プログラムとして、ペアレント・トレーニングは行っていませんが、ご相談がある場合には個別に対応しております。今後も、何かお困り事がございましたら、お気軽にご相談下さい。保護者の皆様に参加できる研修会がある場合は、事業所の玄関に掲示したり、プリントを配布して頂いたり、LINE等でご連絡させて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	8	3			伝え合いを日頃からはできていないかなと感じます。決めたプログラムをこなしている感じ。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かお困りごとがございましたらお気軽にご相談下さい。ご相談がある場合には個別に対応しておりますので、お気軽にご相談下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	6			半年に1回以上のモニタリングでも管理者の方と話す機会が欲しいですが、送迎で会う先生は決まっているので、シャッフルして欲しい。	個別支援計画書の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけ下さい。人員配置の関係上、送迎の職員のシャッフルは困難な場合がありますが、お子様の状況把握や支援の質の向上の為、職員間の情報共有を徹底しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	2		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		1	相談や申し入れをした際に迅速にご対応下さるので安心してお願いしています。	今後も、保護者の皆様と相談しやすい環境作りや丁寧なやり取りを心掛けます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			いつもありがとうございます。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取って参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2		3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2		2		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2				
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1			子供は先生方に信頼を持って安心して通所が来ています。精神面でも安心してしています。	①今後も、お子様達が安心感を持って、楽しく来所して頂けるよう、創意工夫に努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	2			いつも楽しみにしていて、自ら準備をしてくれます。	お子様達が楽しんで運動や活動に参加できるように、引き続き努めて参ります。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	7	3	1	<p>大変満足しております。先生方、いつも良くして下さいありがとうございます。</p> <p>学習面での支援をもう少しサポートしてもらえるとありがたいです。タブレット（タブレット宿題が出る）については、もう一度、保護者の要望を聞いて、事業所でも取り組ませていか検討してもらいたいです。正直、帰宅後疲れているのに、そこからタブレットの宿題は本人のメンタルが持たず、家に帰ってから叫んで大変なんです。本人の問題なんですが、今後更にタブレット学習が推進されていくのに方針を変えないのは残念ですし、利用</p>	<p>今後とも、事業所の運営・支援にご満足頂ける事を目指し、全職員、尽力して参ります。</p> <p>タブレット宿題に関しましては、WiFiの問題であったり、事業所内で故障した場合の保証が出来ない為、プリントの宿題のみの対応をさせて頂いております。今後、社内会議の中で議題として取り上げて、検討致します。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	りあんkidsスポーツクラブ（放デイ）		職員数	4名	提出数	4名	提出率100%	公表日	令和8年 4月 20日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点			
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		クールダウン出来る部屋の代わりにカーテンやパーテーションを使用して、部屋を分割して対応している。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	職員の欠勤がある際はも対応できるように、社内で連携しております。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めて参ります。				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		ゴミやホコリ等気付いた特に清掃し、営業前や営業終了後等も清掃を行っている。	引き続き、環境整備に努めて参ります。				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		ゴミやホコリ等気付いた特に清掃し、営業前や営業終了後等も清掃を行っている。	引き続き、環境整備に努めて参ります。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		プログラム内容や子ども達の状況に合わせ、適宜部屋を分けて使って活動しています。	引き続き、環境整備に努めて参ります。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		朝礼や終礼時に職員間で子ども達の情報を共有しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価を実施しています。頂いた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善に繋がっています。	全職員で保護者様のニーズを把握し、引き続き、改善に向けて努めていきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		子どもの様子等を職員間で共有し、把握している。	全職員で保護者様のニーズを把握し、引き続き、改善に努めて参ります。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価等は行っていない。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		社内研修や外部研修を実施し、学びの機会を常に設けています。	引き続き、内部研修や外部研修に積極的に参加し、学びの機会を確保して参ります。			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ガイドラインに基づき、支援プログラムを作成し、福岡県のHPIにて公表しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		アセスメントを行い、子どもの課題を分析しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		全職員でケース会議を行い、作成しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画に沿った活動を行う様、研修や育成を行っております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の行動観察や、保護者様からの聞き取りを元に行っております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っております。本人支援だけではなく、保護者や園、学校等に関しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で役割分担を行い、活動プログラムを組んでいる。	引き続き、職員間で意見交換しながら、プログラム立案が行える様にしていきます。			

は 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎日、運動内容が被らない様、事前に計画を立て実行している。	固定化が必要な内容については意図的に行い、子ども達が楽しく運動や活動が出来る様、取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		基本は運動療育をメインに取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼や終礼時に職員間で子ども達の情報を共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かして参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		朝礼や終礼時に職員間で子ども達の情報を共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かして参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		その日に行った支援内容を記録している。	適宜、子どもの状況を記録に残し、必要に応じて開示致します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		支援計画の更新時やその他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	より広く職員が参画出来るよう、事前に計画を立てて、モニタリングを実施してまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		4つの基本活動①自立支援と日常生活の充実のための活動、②創作活動、③地域交流の機会の提供、④余暇の提供の内、主に①②④を組み合わせ活動を実施しています。イベントの際等、③も組み合わせ実施出来るように、今後検討致します。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動の中で、子ども達が洗濯したり、意思表示が出来る様な機会を設けています。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。必要に応じて他の職員にも参画できるよう調整致します。	内容については、事業所内で共有を行ってまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		学校等と情報共有を行う事が出来ている。	内容については、事業所内で共有を行ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者様から共有頂いたり、必要に応じて通学先との情報共有を取っております。	内容については、事業所内で共有を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		保護者様の要望に応じて、適宜連携を図っております。	一部の子どもに限定されるため、より積極的な連携を図ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		まだ、学校を卒業した子どもが居ない。	今後、学校を卒業して放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、状況に応じて、それまでの支援内容等の情報を提供致します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については、事業所内で共有を行ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		児童館や児童クラブとの交流は行ってない。	必要に応じて実施を検討致します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については、事業所内で共有を行ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時等の受け渡しの際やLINE等で子どもの様子を伝えている。	引き続き、密にコミュニケーションが取れる様に努めて参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		ご家族に対して、情報共有は行っている。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していない為、今後必要に応じて検討致します。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		作成時に聞き取りを行い、保護者様や本人の要望や意向の確認を行っております。	今後も要望や意向の確認をしながら作成して参ります。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		面談を行い、計画内容の説明をし、同意を頂いております。	今後も丁寧な説明に努めます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者とのコミュニケーションを密に取り、相談しやすい関係性構築に努めて参ります。状況によっては、面談の機会を設けていま	引き続き、保護者様との信頼関係が構築出来るように努めて参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会等の開催は行っていません。	必要に応じて実施を検討致します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談窓口を設置し、掲示の上、周知しております。契約時にもご説明しております。	相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切な対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的にインスタグラムに投稿したり、事業所通信を発行している。	今後も情報発信の充実と周知に努めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報のファイル等は、鍵付きの書庫に保管している。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離等、十分に留意致します。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		絵カードや文字の掲示等、理解度に合わせた掲示の仕方を工夫しております。	引き続き、より良い支援が出来る様に努めて参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域の住民を招待しての行事は行っていません。	必要に応じて実施を検討致します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を行っております。避難訓練に加え、感染症や防犯等も職員間でシミュレーションを取るよう心掛けています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行って参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		災害の発生に備えて、定期的に避難訓練を行っている。（火災、地震等）	引き続き、安全に留意し、支援を行って参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		基本情報を提出して頂き、毎年確認しております。	てんかん等の対応について職員間で周知出来るようにしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アレルギーについて、従業員全員が把握出来る様にしている。	飲食のあるイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認致します。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を策定し、計画に沿って、事業所内で研修や訓練を行います。	引き続き、安全に留意し、支援を行って参ります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		熱中症の注意喚起等、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やLINE等で周知しております。	引き続き、内容の周知を行って参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットがあった際は、職員間で情報共有し、再発防止対策を講じている。	引き続き、安全に留意し、支援を行って参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止について職員間で話し合う事が出来ている。	引き続き、関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施して参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		職員に対し、内容周知の為の研修を行います。今年度の対象の子どもは居りません。	今後、必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うと共に、身体拘束の適正化に努めます。	